

# 白神山地巡視日誌

【巡視箇所】 水沢山ブナの森公園→粕毛川源流部（三蓋沢合流点付近）往復

【巡視日】 平成30年6月26日（火）

【報告者】 専門官 有本 実

さすがに見事なブナ林が残っている…今年4月に当センターに着任後、今回初めて秋田県側の世界遺産地域に足を踏み入れた際の第一印象です。引越の片付けが落ち着いてからプライベートで小岳と藤里駒ヶ岳の樺岱・田苗代両コースを歩いてみたのですが、山麓のブナ林が青森県側の白神岳や太夫峰、天狗岳、高倉森などと比較して細い二次林が多いことが気になっていたのです。

秋田県側の核心地域の一角に、100×200mの長方形の小班が設定されています。ここは平成12年度から実施されている『白神山地世界遺産地域における原生的ブナ林の長期変動調査』の固定調査区に指定されていて、この調査区内に生育する樹種や積雪深、気温のほか、センサーカメラによる人の入り込み利用調査など様々な項目に関する基礎データが毎年収集されています。今回の巡視は、この業務委託を受けた業者の監督を兼ねたものでした。



世界遺産核心地域内のブナ林



固定調査区の作業（気温計を設置）



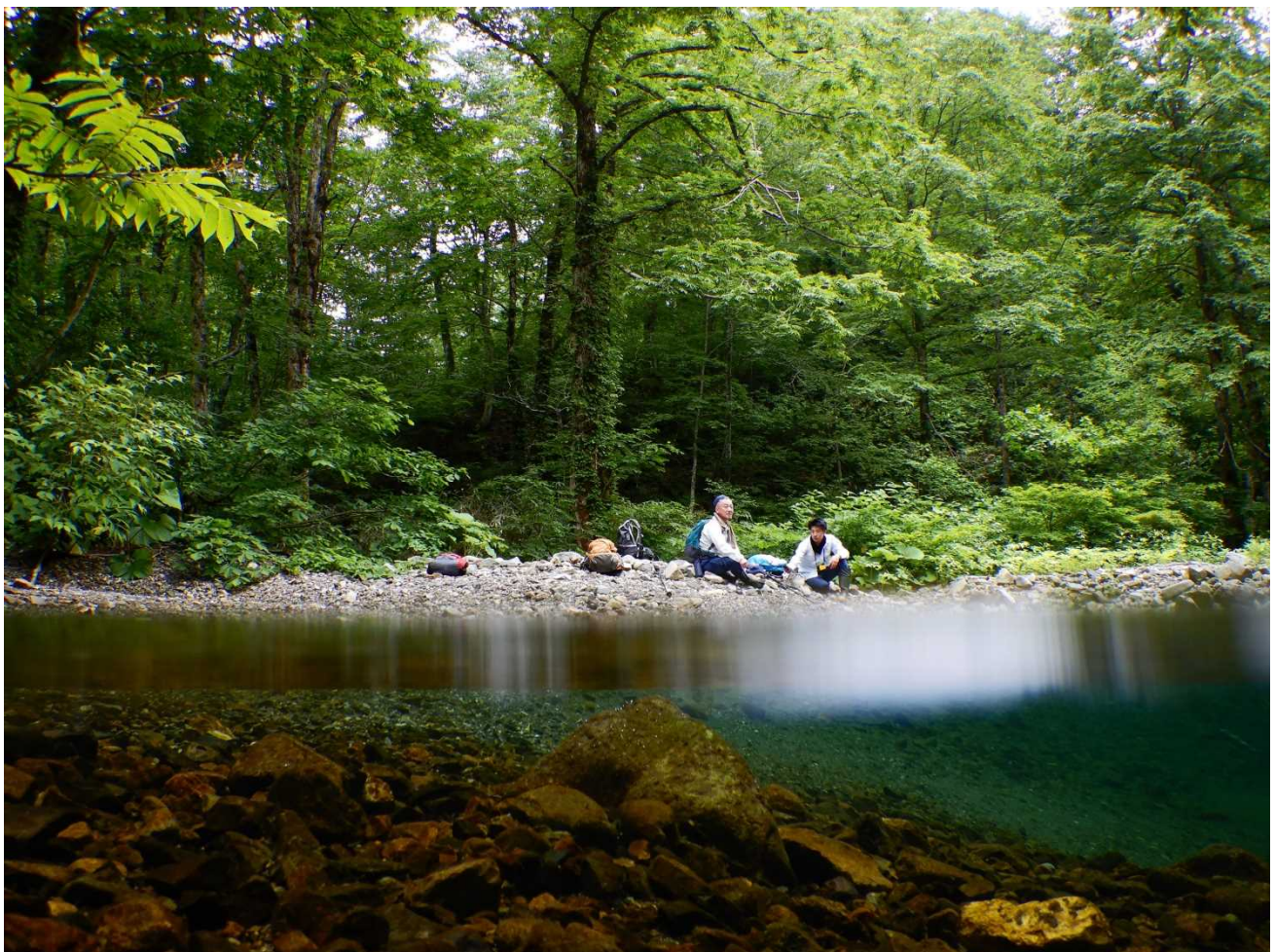
まずはスギ林内を黙々と登る

登山口の“ブナの森公園”からスギの造林地内を登っていき、大きな尾根を越えた反対側が世界遺産地域の粕毛川流域になります。樹木の伐採跡など無いか留意しながら粕毛川目指して下っていき、固定調査区で一通りの作業を終えてから三蓋沢との合流点に着いたのは13時半頃。川面の上の枝に釣り糸が絡んでいる様な、密漁の痕跡は見られませんでした。合流点付近に入り込み利用調査用のカメラを1台設置した後、往路をたどり16時過ぎに無事下山しました。



入り込み利用調査用（ニホンジカの監視も!）のカメラを設置

今回の巡視では樹木の損傷や植物の盗掘、釣り、ゴミの放置、焚火などの違法行為やマナー違反は見受けられませんでした。そもそも秋田県側の世界遺産地域は一般者の入山禁止なのですが、粕毛川源流の魚影の濃さを知っている釣り人が密漁に来ないとも限りません。今後も機会をうかがいながら、巡視活動を継続していきます。



…巡視中の一コマ。粕毛川と三蓋沢の合流点で休憩中…